

【資料7】

幹事会（書面開催）の意見取りまとめ結果について

幹事会(書面開催)の意見取りまとめ結果について

構成員名	意見	回答
久慈市 野田村	<p>(資料4)P4 宇部川の洪水浸水想定区域の指定(見直し、新規指定)について、近年豪雨災害が多発していることから、当流域における避難対策の検討のため早期の洪水浸水想定区域の指定と久慈市総合防災ハザードマップの更新が重要であると捉えております。 このことから、予算確保が困難な状況であることは十分承知しておりますが、宇部川は、昨年(令和2年度)の台風第19号災害時、浸水被害が発生した経緯もあることから、令和2年度において指定いただきますようご検討をお願いいたします。</p> <p>令和2年1月15日に照会のあった洪水浸水想定区域指定5ヶ年計画の修正案において、宇部川の指定が令和2年度となっていた。 しかし、今回の会議資料では令和3年度となっているため、その理由を詳細にお教えいただきたい。 また、令和3年度の指定となった場合、その指定時期について、何月頃までに指定するなどの目安はあるのかお教えいただきたい。</p>	<p>(資料4) 宇部川の洪水浸水想定については、令和2年度の予算確保が困難であったことから、指定年度を令和3年度に修正しました。 洪水浸水想定区域の指定については、可能な限り速やかに指定できるよう、引続き、国に対して予算措置等について要望してまいります。 なお、可能な限り早期の指定に努めますが、検討には期間を要することから、令和3年度末頃の指定となる見込みです。</p>
沿岸土木部	<p>(資料3)P11、P12 メディア連携部会、ダム情報提供部会について、振興局土木部等をオブザーバーとして追加することを検討願いたい。</p> <p>(その他) 新型コロナウイルス対策として共有できることを掲載していただきたい。 ホットラインは、2017年度から運用している。避難勧告を発令する市町村にとって、運用に当たっての意見・改善点ありましたら、お聞きしたい。</p>	<p>(資料3) 国と調整のうえ、検討を進めていきます。</p> <p>(その他) 新型コロナウイルスにかかる対策については、資料9を御覧ください。 ホットラインについては、今後各市町村に照会のうえ、取りまとめを行う予定です。</p>
二戸土木センター ※参考(馬淵川米代川新井田川圏域)	<p>(その他) 管内市町村からの意見 ・水位計と雨量計と対応させて同じ画面で表示するようしてほしい。</p> <p>・水位計について、危機管理型も従来型も同じホームページで見られるようしてほしい。</p> <p>・ありとあらゆるところからホットラインが来るため、電話が使えなくなるなどの弊害が出ていることから、やり方を検討してほしい。</p> <p>・マスコミの取材について、同じ会社から同じ質問、回答が難しい質問や、発表済み内容に関する内容など多く寄せられることから、県からも災害時の取材のあり方について改善を申し入れてほしい。</p>	<p>(その他) ・岩手県河川情報システムでは、水位計に対応した雨量計の数値は同じ画面で確認することが出来ます。ご意見を踏まえながら、よりわかりやすい表示となるよう努めてまいります。</p> <p>・危機管理型水位計を岩手県河川情報システムで確認するには、システムの大規模な改修が伴うため、危機管理型水位計を閲覧できる「川の水位情報」で従来型の水位計を確認することができるよう、国と調整を図ります。</p> <p>・国交省、気象台、県、ダム管理者等からホットラインが来るかと思いますが、こちらは緊急時に確実に情報を伝達するための仕組みであるため、ご理解をお願いいたします。</p> <p>・メディア連携部会で情報提供していきます。</p>